

岡崎市唯一の“あいちの伝統野菜”

「法性寺ねぎ」出荷ピークを迎えます！



J Aあいち三河（岡崎市／組合長：大竹博久）管内の岡崎市で栽培されている愛知の伝統野菜「法性寺（ほっしょうじ）ねぎ」の出荷が最盛期を迎えています。「法性寺ねぎ」は岡崎市法性寺町を中心に栽培されており、平成15年に「あいちの伝統野菜」に登録されました（岡崎市唯一）。また、岡崎市の農林産物ブランド化推進品目にも指定されています。冬の寒さによって甘く柔らかな食感になるため、寒さが厳しくなる12月から3月が旬となります。

当J Aでは『J Aあいち三河法性寺ねぎ研究会』の部会員が、「法性寺ねぎ」の伝統継承と更なる発展、生産拡大を目指して栽培に取り組んでいます。

「法性寺ねぎ」は甘みや香りが強く、柔らかいのが特徴です。品質の安定した出荷を目指し、当研究会では年に2回の圃場巡回を行っています。企画を統一し、品質にばらつきが無いよう努めています。

『J Aあいち三河法性寺ねぎ研究会』概況

栽培品種：「法性寺ねぎ」
栽培地域：岡崎市（法性寺町を中心として栽培）
栽培面積：約1.7ヘクタール
部会員数：16名
出荷期間：11月～3月末
（1月中下旬がピークとなります）
出荷先：当J A産直施設など



取材対応（内容：収穫作業・結束作業等）

日程：1月24日（金）、27（月）、28日（火）
の3日間でご希望の日に実施

集合時間：10時00分

集合場所：J Aあいち三河本店経済センター駐車場
（岡崎市坂左右町葦ノ部18-1）

⇒その後、生産者の畑にご案内いたします。

※撮影場所まで少し車で移動いたします（10分程度）。



▲法性寺ねぎ

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

J Aあいち三河 総合企画部 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、J Aグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。